

—平成29年度—

〈募集要項〉

神奈川県環境インターンシップ “研修生”を募集しています！

神奈川県では、企業や大学の皆様のご協力をいただき、「環境インターンシップ研修」を実施しています。

この研修は、大学生や大学院生が、環境に関する取組を積極的に行っている企業での業務を体験することで、環境問題に関する知識や、その解決に必要な意欲・実践的能力を身につけてもらうことを目的に実施しています。

企業活動においても経営と環境との両立が求められています。企業における環境問題に対する取組や考え方はどのようなものなのでしょうか？

環境問題の解決につながる「ヒント」を皆さん自身で見つけてください。ご応募お待ちしております！

環境インターンシップとは

目的	 <p>大学生又は大学院生に、インターンシップ研修生として、環境に関する取組を積極的に行っている企業での業務を体験してもらうことにより、環境保全や環境問題の解決に必要な意欲及び実践的能力を有する人材を育成することを目的としています。</p>
対象	【研修生】 神奈川県内にキャンパスを有する大学に在籍する大学生及び大学院生 (企業での研修及び県主催の報告会に原則全日程参加できる方) 【受入先企業】 環境に関する取組を積極的に行っている企業
研修内容	環境に関する取組を積極的に行っている企業において、環境問題やそれを解決するための企業の諸活動について学び、問題解決に向けた意欲や実践的能力を身につける。 例)・企業における独自の ISO の取組の学習や監査業務の体験 ・環境に配慮した製品づくりの企画・提案 など
研修実施期間	原則、平成29年7月下旬から9月30日の期間内において10日間程度(応相談)
研修実施の流れ	4～6月上旬 研修生の募集(大学で取りまとめ、県に申込み) 6月上旬 大学からの申込み情報を、県から受入先企業に提出 ～7月下旬 ⇒ 受入先企業は受入れ可能な学生を決定、県に報告 ⇒ 県は受入先企業及び大学にマッチング結果を送付 ⇒ 受入企業と研修生は研修日時・内容等の詳細を調整 7月下旬～9月 研修の実施 9月末 研修生は、「修了レポート」を県に報告(県から受入企業へ送付) 受入先企業は、「評価書」を県に提出(県から大学へ送付) 10月13日(金)又は20日(金) 学生・受入先企業等による報告会を開催
費用負担	研修生は無給。 研修に係る交通費、出張旅費など全ての経費は、研修生個人又は派遣大学が負担する。
服務	研修生は、研修期間中、受入先の服務規律に従うとともに、受入先の担当者の指導、監督等に従うほか、秘密保持の義務を負う。

スケジュール

時期		県	受入企業	大学	学生
4月～6月上旬	研修生の募集	◆大学に募集要項及び受入一覧企業一覧を送付し、研修生の募集を依頼		◆学内で研修生を募集	◆大学と協議・相談の上、受入企業を選択
		(◆推薦書等を受領、内容確認)		◆参加希望の学生がいる場合、応募用紙、推薦書、エントリーシートを県に提出 様式2 様式3	◆エントリーシートを大学へ提出 様式4
			[* 詳細な条件等に関する大学からの問合せに対応]	[* 必要に応じ、詳細を企業に問合せ]	[* 必要に応じ、詳細を企業に問合せ]
6月上旬～7月下旬	マッチング作業	◆受入企業に、推薦書とエントリーシートを送付	(◆受領)		
		(◆報告を受ける)	◆受入可否を決定、県に報告 [* 必要に応じて、学生に関する情報を大学に問合せ]	[* 学生に関する問合せに対応]	
		◆受入先の報告を受け、マッチング結果を受入企業及び大学に送付	(◆受領)	(◆受領、学生へ連絡)	(◆研修先の決定)
	事前調整		◆学生と実施日時・内容等を調整、決定		◆企業と実施日時・内容等を調整
		(◆受領、大学に1部送付)	◆「実施計画」を作成、県に送付 様式5	(◆受領)	
	(◆協力)	(◆受領)	◆「覚書」及び「誓約書」を企業に提出(必要がある場合)	◆「覚書」及び「誓約書」を大学に提出(必要がある場合) 様式6 様式7	
7月下旬～9月	研修の実施	◆必要に応じ、企業・学生をサポート	(◆実施)		(◆実施)
		(◆受領、大学に1部送付)	◆やむを得ず中止する場合、県に「中止決定」を連絡 様式8	(◆受領)	
9月末頃	成果の評価	(◆受領、受入先企業及び大学に各1部送付)	(◆受領)	(◆受領)	◆「修了レポート」を作成し県へ提出 様式9
		(◆受領、大学及び学生に各1部送付)	◆「評価書」を作成、県に送付 様式10	(◆受領)	(◆受領)
	公表	◆実施結果を県のHP等で公表			
	報告会	◆報告会等を開催	(◆参加)	(◆参加)	(◆参加)

平成29年度 受入企業【12社】

	小田原ガス(株)	(株)大川印刷	(株)JVC ケンウッド	
主な事業内容	ガス業	印刷全般(デザイン～印刷、イベント立上げなど)	オートモーティブ製品、無線機器、医療用モニタ、カムコーダー、オーディオ、オーディオアクセサリ等の開発、製造、販売など	
実習テーマ/内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 当社の事業概要(供給部門・営業部門等) ◆ 各業務に関する現場研修、現場実習(エコクッキング等) ◆ ほうとくエネルギー事業の概要、ソーラー発電施設見学等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 当社を通して見た、様々な環境配慮とは？ ・ 人、モノ、自然などの地域の問題を当社の取組からコトづくり、モノづくりを考案し、CSV(Creating Shared Value)を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 小学生向け環境出前授業の講義資料作成(題材:小型家電リサイクル)、リサイクル業者の見学 ◆ 出前授業体験(オファーがあった場合) ◆ 製品の法規制/環境配慮商品の設計・管理に関する研修 ◆ 社内環境イベントの補助、他 	
実習地	本社: 神奈川県小田原市扇町1-30-13	本社: 横浜市戸塚区上矢部町 2053 横浜営業所: 横浜市西区高島2-14-12-3F	横浜市神奈川区守屋町3-12	
受入期間	8月21日～8月24日までの間、4日程度	8月1日～9月30日までの間、10日程度	7月下旬～9月中旬までの間、5～10日程度(8月11日～20日を除く)	
事前説明会	なし	なし なお、毎水曜日 14:00～工場見学会開催(要連絡)	なし	
受入可能人数	2人	1～2人	2人	
参加学生に求める資格や条件、注意事項	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境、CSRに興味、関心があること。 ・ チャレンジする意欲があること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼン資料を作るのが好きな方。 ・ インターンシップ中の写真等を当社ホームページに掲載することを了承いただける方。 	
連絡先	担当部署	総務・経理チーム	総務部	環境・風土改革推進室
	担当者名	石井 充(イシイ ミツル)	田中 雄三(タナカ ユウゾウ)	鉢呂 晶子(ハチロ アキコ)
	電話	0465-32-2777	045-812-1131	045-444-5380
	ファックス	0465-35-0064	045-812-1135	045-444-5449
	E-mail	soumu@odawaragas.co.jp	tanaka@ohkawa-inc.co.jp	hachiro-akiko@jvckenwood.com
環境インターンシップ受入れ実績	平成28年度:4名	新規	新規	

	(株)総合環境分析	(株)ディグ (ミノリソリューションズ(株))	管清工業(株)	
主な事業内容	水質測定、固質測定、大気測定、臭気測定、騒音測定、作業環境測定、環境アセスメント関連環境調査、食品分析、放射能測定、その他各種実験及び試験	印刷、企画、システム開発、環境ソリューション事業	下水道管路施設維持管理業	
実習テーマ/内容	<p>◆ 上水・環境水・事業所排水・土壌の環境分析</p> <p>【主な分析項目】ノルマルヘキサノ抽出物質、一般細菌検査、大腸菌検査、pH、SS</p> <p>【その他】現場測定、サンプリング業務(業務の都合による)</p>	<p>◆ 企業経営に役立つ「環境経営マネジメント」の理解</p> <p>◆ ITを活用した環境ソリューションビジネスの理解</p> <p>◆ 「環境関連ビジネスモデルの検討」などの課題検討</p> <p>◆ 社外の方をお招きしての発表会</p>	<p>◆ 下水道管路管理 現場実習(施工補助)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内外排水管の調査(ファイバースコープ・TVカメラ等)、清掃(詰まり、定期)、補修工事(現場作業)など ・ 公共下水道管路施設の調査(目視・TVカメラ等)、清掃(特殊車両)、補修工事(管内非開削更生作業)など 	
実習地	横浜本社: 神奈川県横浜市緑区鴨居1-13-2	東京都中央区湊2-8-7	世田谷区上用賀1-7-3 横浜市旭区川井本町66	
受入期間	8月下旬~9月上旬までの間、10日程度	7月下旬~9月30日の間で10日程度	8月1日~9月30日までの間、10日程度	
事前説明会	なし	あり(日程未定)	なし	
受入可能人数	1~2人	4人	1~2人	
参加学生に求める資格や条件、注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターンシップ中の事故(通勤時含む)に備えた保険(自己負担又は大学負担)に加入してください。 ・ インターンシップ中の様子(写真など含む)を当社ホームページに掲載させていただきます。 	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏場の現場作業は大変なため、明るく元気で真面目な方を希望します。 ・ 通勤に支障のない方を優先します。 	
連絡先	担当部署	総務部	代表取締役	管理本部総務部人事課
	担当者名	神山 敬之(カミヤマ タカユキ)	杉井 康之(スギイ ヤスユキ)	峰岸、石川(ミネギシ、イシカワ)
	電話	045-929-0033	03-3551-3060	03-5730-2882
	ファクシ	045-929-0039	03-3555-8684	03-5730-2880
	E-mail	kamiyama@s-kb.co.jp	sugii@dig-inc.co.jp	info-kyujin@kansei-pipe.co.jp
環境インターンシップ受入れ実績	平成28年度:4名	平成28年度:1名、平成27年度:2名 平成26年度:2名、平成25年度:2名 平成24年度:2名、平成23年度:4名 平成22年度:3名、平成21年度:2名 平成20年度:4名	新規	

	生活協同組合パルシステム 神奈川ゆめコープ	TOTO(株)茅ヶ崎工場	中日本高速道路(株)	
主な事業内容	無店舗供給事業、共済事業、福祉事業、電力事業	新製品の開発・研究、システムトイレの製造	高速道路ネットワークの建設事業、保全・サービス事業及びサービスエリア事業など	
実習テーマ/ 内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ テーマ: 生協業務を通してパルシステムの環境活動を知る ◆ 主な実習内容: <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動の取組の学習(座学) ・ 環境配慮型センターの見学(リサイクルセンター予定) ・ 組合員拡大(営業)の補助・供給(配送)の補助 ・ 組合員活動運営の補助 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ EMSを中心とした企業における活動内容を実践現場で体験しスキルをマスターしていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 当社環境マニュアル、規定類の説明と自習 ・ エコ商品を通じた企業の環境への取組体験 ・ 振動騒音測定、排出物分別指導の実施 ・ 役所への届出関連や施設パトロール ・ 環境貢献活動(周辺清掃等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 当社の事業概要(建設、保全、サービスエリア事業など)紹介 ◆ 各事業に関する現場見学 ◆ 現場での実習(環境に関する内容) ◆ グループワーク など 	
実習地	当組合事業所〔新横浜・県内各センター〕、産地〔小田原〕	茅ヶ崎工場内(茅ヶ崎市本村2-8-1)	中日本高速道路株式会社 東京支社管内	
受入期間	7月28日～8月11日までの間、6日間程度 * 土曜日の実習(産地)を含む予定。その際、次の日・月曜日はお休み予定。	8月7日～8月24日まで間、3日間程度	8月中下旬から、5日程度	
事前説明会	なし	なし	なし	
受入可能人数	4人	3人	4～5人	
参加学生に求める資格や条件、注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・生活協同組合パルシステム(グループ)に興味のある学生 ※学業の部門・学年は不問ですが、<u>全日程参加できる方。</u> 	大学1年生および大学2年生	高速道路事業に興味があり、積極的に取り組む意欲のある方	
連絡先	担当部署	管理部 人事課	安全環境グループ	中日本高速道路株式会社 東京支社
	担当者名	河西 智行(カワニシ トモユキ)	高橋 明彦 (タカハシ アキヒコ)	平田 大輔(ヒラタ ダイスケ)
	電話	045-470-4571	0467-54-1048	03-5776-5285
	ファクシ	045-470-4171	0467-54-1176	03-5776-5340
	E-mail	ym-jinji@pal.or.jp	akihiko.takahashi@jp.toto.com	d.hirata.aa@c-nexco.co.jp
環境インターンシップ 受入れ実績	平成28年度:3名 平成27年度:6名 平成26年度:4名 平成25年度:3名 平成24年度:4名 平成23年度:4名 平成22年度:5名	平成28年度:3名 平成27年度:3名 平成26年度:3名	平成28年度:5名 平成27年度:5名 平成26年度:5名 平成25年度:4名 平成24年度:6名 平成23年度:5名	

	プリンス電機(株)	横浜環境保全(株)	RAUL(株)	
主な事業内容	施設・機器照明のLED、蛍光灯等を開発・製造・販売	リサイクル事業	環境・WEBコンサルティング	
実習テーマ/ 内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「私(研修生)と企業(当社)、環境・社会活動の構想を創る」 ・ 4つのMSで持続可能な環境・社会活動を考える。 ・ 「かながわ地球環境賞」受賞の環境教育活動を知る。(当社実施の小学校や大学、地域への環境講座が教材) ・ 活動冊子の作成や報道リリースの広報を実践する。 ・ 私と企業、環境・社会活動の構想計画シートを創る。(企業/地域/行政/団体/大学/報道等と連携を考える) ・ 工場見学。日程により環境・エシカル団体等へ訪問。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 安全衛生管理 ◆ リサイクル体験実習 ◆ 営業体験 ◆ 廃棄物最終処分地見学 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境・エネルギー関連の調査・分析 ◆ 環境の記事執筆・ウェブマーケティング体験 ◆ CSR/環境クライテリアによる企業価値のレーティング ◆ 電力会社の運営が学べるボードゲーム ◆ キュレーションメディアの作成 ◆ イベント参加・報告書作成 	
実習地	本社:横浜市鶴見区市場下町8-25	横浜環境保全(株)金沢営業所	東京都新宿区新宿2-9-22 多摩川新宿ビル3階	
受入期間	8月28日～9月8日までの間、6日程度	7月24日～8月31日までの間、5日間程度	7月20日から9月30日までの間、10日程度	
事前説明会	なし(メールや電話で個別問合せ可)	なし	あり	
受入可能人数	3人	4人	10人	
参加学生に求める資格や条件、注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学部専攻不問。当社の実習テーマと内容に興味のある方。 ・実習で専門誌等へ広報の実践予定、写真等掲載が可能な方。 	リサイクルに興味のある方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境やマーケティングに関心のある方。 	
連絡先	担当部署	企画業務部 企画課	総務部	Webコンサルティング事業部
	担当者名	東使 弘三郎(トウシ コウザブロウ)	村山 浩平 (ムラヤマ コウヘイ)	森 正旭(モリ マサアキ)
	電話	045-501-4752	045-651-6680	03-6411-0858
	ファクシミリ	045-501-4730	045-651-6609	03-6856-4305
	E-mail	k.toshi@prince-d.co.jp	k-murayama@y-kankyo.co.jp	masaaki.mori@ra-ul.com
環境インターンシップ 受入れ実績	新規	平成28年度:3名	平成28年度:2名 平成27年度:6名 平成26年度:2名 平成25年度:1名	

平成28年度実施結果

受入先(実施期間)	学生	インターンシップの主な内容
(株)岡村製作所 (8月25日～9月2日の間で8日間)	関東学院大学(人間環境部) 東京工芸大学(工学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 小学校で行う環境出前講座の理解を行い、指導の下に環境出前講座を制作 ◆ オフィス環境のあり方についての理解を行い、制作した環境出前講座の改善
小田原ガス(株) (8月22日～8月25日の間で4日間)	関東学院大学(法学部) 東京工芸大学(工学部) 東京農業大学(国際食料情報学部) フェリス女学院大学(国際交流学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 供給・営業業務などの事業概要の説明 ◆ 各事業に関する現場見学・実習(エコクッキングなど) ◆ ほうとくエネルギー事業概要・現場見学など
生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ (8月5日～8月12日の間で6日間)	北里大学(理学部) 明治大学(農学部) 明治大学(農学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境活動の取組の学習(座学) ◆ 環境配慮型センターの見学 ◆ 組合員拡大(営業)の補助・供給(配送)の補助 ◆ 組合員活動運営補助(産地)
(株)総合環境分析 (8月22日～9月16日の間で10日間)	関東学院大学(理工学部) 東京工芸大学(工学部) 東京都市大学(環境学部) 明治大学(農学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 上水・環境水・事業所排水・土壌の環境分析 ◆ 現場測定、サンプリング業務
(株)ディグ (8月3日～8月12日の間で10日間)	東京農業大学(農学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境経営マネジメントの研修 ◆ ITを活用した環境ソリューションビジネスの理解および実習 ◆ 環境関連ビジネスモデルの検討及び発表会
(株)東芝環境ソリューション (8月29日～9月9日の間で10日間)	青山学院大学(理工学部) 日本大学大学院(生物資源科学研究科) 明治大学(農学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ISO14001環境マネジメントシステムの学習と東芝総合環境監査に基づく環境経営への取組を学習 ◆ 廃棄物中間処理施設、家電リサイクル施設等の見学
ＴＯＴＯ(株) 茅ヶ崎工場 (8月9日～8月18日の間で4日間)	神奈川大学(工学部) 関東学院大学(法学部) 東京工芸大学(工学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ EMSを中心とした企業における活動内容の現場体験、スキルの習得 ◆ 自社環境マニュアル、規定類の学習 ◆ エコ商品を通じた環境への取組体験 ◆ 振動騒音測定、排出物分別指導の実施 ◆ 役所への届出関連や施設パトロール ◆ 周辺清掃等の環境貢献活動
中日本高速道路(株) (8月15日～8月19日の間で5日間)	青山学院大学(社会情報学部) 関東学院大学(法学部) 東京工芸大学(工学部) 東京都市大学(環境学部) 明治大学(農学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業概要(建設、保全、サービスエリア事業など)の紹介 ◆ 各事業に関する現場見学 ◆ 環境に関する内容の現場での実習 ◆ グループワーク
萬世リサイクルシステムズ(株) (9月1日～9月14日の間で5日間)	東京工芸大学(工学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ リサイクル企業のCSRについての研修(CSR活動について、NPO法人 Re ライフスタイルについて、CSR活動の実地研修) ◆ リサイクル業の最前線の工場研修(廃棄物の基礎研修、工場現場研修、生産管理研修、グループディスカッション)
横浜環境保全(株) (7月30日～8月4日の間で6日間)	関東学院大学(経済学部) 東海大学(理学部) 明治大学(農学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 安全衛生管理 ◆ 地域貢献活動 ◆ リサイクル施設等の見学 ◆ 自社システムによる顧客管理 ◆ 産業廃棄物収集から manifests の流れ ◆ 一般・産業廃棄物収集体験
RAUL(株) (8月1日～9月30日の間で10日間)	関東学院大学(社会学部) 明治大学(農学部)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境・WEBマーケティングのビジネス基礎を体験 ◆ エネルギーに関する一般社団と連携したコンテンツなどの作成 ◆ WEB活用によるマーケティング ◆ 電力ボードゲームによる学習 ◆ 環境クライテリア(株式投資をする際の判断基準の指針)の評価基準作成

受入企業／学生の声

一企業担当者Aさん一

何事にもまじめで、難しい課題についても他の研修生と力を合わせて取り組み、期待以上のアウトプットをしていただきました。



一企業担当者Bさん一

意欲的な学生さんに来ていただくことで、企業側にも非常に刺激になります。改善提案もしていただき大変参考になりました。



一企業担当者Cさん一

今回のインターンシップは初めての受入で、課題設定も手探りでしたが、研修生の協力により有意義なものにすることが出来ました。



一企業担当者Dさん一

CSRを推進する観点からも、今後も積極的に学生の実習を受け入れたいと考えます。



一学生Aさん一

一つの企業がこれだけ環境に優しくあろうと努力しているのだから、私たちも小さなことでもコツコツ環境にやさしい行動を積み重ねた方がいいと感じました。



一学生Bさん一

環境管理のための仕事は非常に責任が大きく、やりがいのあるお仕事であることを知ることができました。



一学生Cさん一

与えられた業務に対して、勤務時間内に終わらせるにはどう考えて取り組めばいいのかを考え、全体をイメージする大切さを学びました。



一学生Dさん一

就職するのがゴールではなく、自分がどのような人間として生きていくか、その場所が職場であることを学びました。

一学生Eさん一

普段の生活の中でも、今回学んだりサイクルの大切さを忘れずに、小さなことから環境保全に貢献していきたい。



一学生Fさん一

机上で学ぶだけでは感じることのできない「環境活動」の難しさややりがいというものを知ることができました。



一学生Gさん一

自分の考えを伝えることや他人の意見をくみ取りながら議論を進めることの難しさや大切さを学びました。



一学生Hさん一

働くことの中にも、お金以外のものを見いだせることができるのだということを教えていただきました。

◆問合せ先

神奈川県環境農政局環境部環境計画課地球温暖化対策グループ 担当：富田

〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1

電話：045-210-4053（直通） ファクシミリ：045-210-8952

◆HP「神奈川県環境インターンシップ」

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p20320.html>



要領や様式はこちらのHPに掲載しています。